

国分寺駅・西国分寺駅周辺整備 特別委員会記録

とき 令和7年10月30日

国分寺市議会

国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会

令和7年10月30日（木）

○ 出席委員

委員長	寺嶋 たけし
副委員長	新海 栄一
委員	鈴木 ちひろ
	小坂 まさ代
	松岡 まり
	鳥居 あかね
	森田 たかし
	はせべ 豊子
	皆川 りうこ
	木島 たかし

○ 審査事項

《報告事項》

- (1) 国分寺駅南口駅前再整備に向けた検討状況について
- (2) 西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況について
- (3) その他

午前9時31分開会

○寺嶋委員長 おはようございます。ただいまから国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会を開会いたします。冒頭、市長より公務のため、終日欠席する旨の届出がございましたので、御報告いたします。



○寺嶋委員長 それでは、早速ですが、報告事項を受けたいと思います。

報告事項1番 国分寺駅南口駅前再整備に向けた検討状況について、報告をお願いします。

○細江駅周辺整備課長 おはようございます。よろしくお願ひいたします。それでは、国分寺駅南口駅前再整備に向けた検討状況について、報告いたします。今回は再整備基本方針の検討における再整備の方向性やコンセプトについて、アンケート調査を実施する旨の説明をいたしました。本日はその内容について報告いたします。

まず、アンケート調査ですけれども、令和7年11月1日から11月30日までの間で実施いたします。無作為で抽出された対象者の方に郵送しまして、回答は郵送かウェブによる方法としております。内容については、資料の別添のほうにつけておりますので、御覧いただきたいと思います。

まず、別添の1ページ、こちらが案内文と回答方法の説明となっております。次の2ページ、こちらに駅前広場の再整備コンセプト案と再整備の方向性を示しているというものとなっております。前回説明しましたとおり、国分寺市都市計画マスタープランの考え方、位置づけにより、コンセプト案を「歴史・文化交流の拠点をつくる国分寺の玄関口」といたしたところでございます。また、再整備の方向性についてもアンケートにて御意見をいただくこととしております。

3ページから、アンケート内容ということになっております。1番目に属性、2番目は駅の利用状況についての設問ということになっております。

4ページの3番目ですけれども、現状の課題について改めて問うという内容になっております。4番目が、今回のメインとなる再整備コンセプト案及び再整備の方向性について、印象とその理由について問うというものとなっております。また、今後、国分寺駅南口駅前広場に加えてほしい機能について御意見を伺いまして、最後に、自由意見を伺うという内容となっております。

資料の1ページに戻っていただきたいと思います。ヒアリングについてでございます。現在のところ、ヒアリング対象を①でお示ししておりますが、今後の状況により対象を選定してまいりたいと考えているところでございます。実施の予定ですが、これまでアンケートと並行して行うことを考えていたんですけれども、アンケート実施後にヒアリングを実施するというのといたしたいと考えております。

簡単ですが、報告は以上でございます。

○寺嶋委員長 報告が終わりました。質問のある方は挙手をお願いします。

○はせべ委員 おはようございます。今日もよろしくお願ひいたします。御報告ありがとうございました。まず、検討状況ということで、1ページのアンケート調査とヒアリングのところ、幾つか質問をさせていただきたいと思います。

まず、アンケート調査ということで、11月1日からとなっておりますが、郵送で送ることなので、1点目は、このアンケートの調査項目の中身としてはもう確定で、今日は報告ということで、これから意見を述べたいところもあるかと思うんですけど、一応それは意見として聞き取っていただくということで、印刷とかは終わっている状況なんでしょうか。

2点目は、ヒアリングのところ。ヒアリングの対象ということで、前回の委員会でもお示ししてい

ただいて、そこで、企業の方にもというところは、商店会の中にも企業がいるので、そこは全部含まれているという理解でよろしいのかということと、あとはこの時期、今の御説明で、アンケート調査を実施して、その後ヒアリングというお話だったと思いますけれども、この対象者にも、もうこれから11月ですけども、11月に入って通知を出して、下旬までにヒアリングするというその流れを教えてくださいたいと思います。

○細江駅周辺整備課長　　まず1点目ですけども、このアンケート調査は11月1日から実施するという事になっておりまして、既に発送の準備が終わっておりますので、このアンケート内容については、確定ということでございます。ただ、本委員会において、このアンケートの結果を御報告させていただきまして、また、改めて御意見のほうをお伺いできたらというふうに考えているところでございます。

それから、ヒアリングの対象については、ここに書かれている、基本的にはまずは自治会とかそういったところを対象にしつつ、ここに「他」と書いてありますけれども、関連してくる店舗だとか、そういったところにも必要に応じて、これからヒアリングのほうを行っていきたいと考えているところでございます。

それからヒアリングの流れと申しますか、こちらについても今現在、アポイントを取って、いつヒアリングにお伺いしますという時期の確定をしているというところです。そのときにアンケート内容も御説明して、それについてお伺いしたいというような流れで、ヒアリングを行っていきたいと考えております。

○はせべ委員　　ありがとうございました。最後のヒアリングは、連絡を取り合って始まっているということで、少し安心したところです。やはり個人の方に、市民の方に聞くわけですが、団体の方との話合いも必要かと思うので、ある程度日程が詰まって、中旬から下旬と書いてありますけど、あまり期間が短いと、団体も話合いに向けた内部での検討等もあるかと思うので、せっかくヒアリングをするのに多くの意見をいただけないのではということ懸念しましたので、質問させていただきました。順々に進めていただきたいと思います。

○小坂委員　　おはようございます。今日もよろしくお願ひいたします。今のところの関連でお伺いしたいと思ひます。

私も前回の資料の企業等というところを確認できたらと思ひておりました。今もお話がありましたけれども、「他」というところ、ぜひ御検討いただきたいのが、あの辺りを歩いていますと、園児を連れた保育所の先生方が、よく周辺をお散歩等しているのが見受けられます。そういった子どもと子どもの周りの方にいる方の視点も、今回の整備に取り入れていただきたいと思ひますので、ヒアリングの対象に保育所も入れていただきたいと思ひますが、いかがでしょうか。

○細江駅周辺整備課長　　ヒアリングは今回で全て終了というわけではございませんので、まず一定は、その交通の環境を改善するという観点、それから広場の利活用だとか、そういった観点で今回ヒアリングをしていきたいというふうに考えております。その中でも様々御意見が出てくるとは思ひますので、今後、そのヒアリング対象も、今いただいた視点も踏まえて考えていきたいと思ひております。

○小坂委員　　ぜひ御検討をお願いいたします。あとアンケートのほうですけども、今回の対象者については、前回御報告いただいたところで近隣にお住まいの方ということなんですけれども、今後、次年度以降のどこかのタイミングで広くウェブアンケートなど、そういったことを考えていらっしゃるかどうか、現状についてお伺ひいたします。

○細江駅周辺整備課長　　実際にアンケートをやるかどうかまではまだ確定はしておりませんが、現在検討しているのが、ある程度その案が見えてきたところで、現地での御意見を伺うということを通年度もやっ

てきましたけども、そういった取組はやってまいりたいと考えております。現地で具体的なイメージをお示ししながら、その場で生の御意見を伺うということも、非常にこれから重要になってくるだろうと考えておりますので、まだ具体的にアンケートをいつやるかなどは、今後、今回のアンケートやヒアリングを踏まえて、詳細に考えていきたいと思っております。

○小坂委員　　これまでも、テントを出して御意見を伺っているところを拝見させていただいていました。こういったところも非常に重要だろうなというふうには思います。それを見ておりましたときに、もうちょっと積極的に声を出してアピールが必要ではないかなというふうに思いました。関心のある方が立ち寄ってきたときに対応するというふうに私が見たときは見受けられたので、ぜひ今後やっていただくときには、もうちょっとアピールをしながら展開していただければいいかなというふうに思いました。

あと、隣の国立市でも、現在、国立駅南口の駅舎を含めた広場の整備が進んでいるところです。どのようにウェブアンケートなどを進めてきたかをざっと調べてみたところ、令和3年4月にインターネットで広くアンケート調査を、11月には市内全域の18歳以上を対象に無作為抽出された3,000人に調査をかけています。令和6年3月から5月にかけて、インターネットで国立駅南口駅前広場に関するアンケート調査ということで、広く市民の方から声を拾い、約100名の方から声が寄せられたというようなことが、インターネットのほうに出ていました。

前回の議論にもありましたけれども、駅周辺というのは近隣の方だけが利用するものではありませんので、次年度以降、ぜひ広くインターネットで市民の声を拾えるような仕組みづくりを御検討いただきたいと思っております。一言いただけますでしょうか。

○細江駅周辺整備課長　　利用者は市民に限らずということになると思いますが、特に駅の近隣にお住まいの利用者も含め、できる限り多くの利用者の声をいただきたいとは思っておりますが、ただ、今回は駅勢圏を対象にするということで、アンケートの趣旨がちょっと薄まってしまうという危険性もありますので、そういったことも総合的に踏まえて、可能な限り声を聞けていけたらと考えております。

○鳥居委員　　すみません、関連でお聞きします。ヒアリングの対象予定について、南町二丁目町会などが出ているんですけども、東元町のほうの町会だったり、商店会というのが入っていないくて、半径何メートル以内とか、どのような抽出方法で考えているのかお伺いします。

○細江駅周辺整備課長　　半径とかそういったところではなくて、過年度から、この団体にはヒアリングを続けてきて、お伺いしてきたという流れを酌んでいるところでございます。今後、必要性があれば、対象についても考えていきたいと思っております。

○鳥居委員　　では、必要があれば対象範囲も考えていただいて、全体的にアンケート調査をするということで、ある程度は酌めるのかなと思っておりますので、少し御検討をお願いいたします。

○皆川委員　　皆さんの御質問と関連はするかなと思うんですが、前回の資料を確認しますと、アンケート調査範囲ということで、国分寺駅南口駅前広場から半径800メートルということもありますし、また、町名も書いてあります。先ほど御説明のときにこの調査範囲も再検討するという旨の御発言があったかなと思うんですが、今、質問された中で、範囲を広げるという方向性もあるのかなと思うんですけど、今の段階で拡大する予定なのか、その辺を教えてください。

○細江駅周辺整備課長　　アンケートについては、変えるということはありません。

○皆川委員　　分かりました。アンケートに関しては、3,000通ということで、もう送る準備が完了していますので、そのように進めていると思っております。一方で、ヒアリングの対象というところで、いろいろ御意

見が出ているところだと思います。

アンケートの状況を見て、ヒアリング項目というのが今回出ていますけれども、そういうことも検討材料にはなるのかなと思っております。

それで、先ほど小坂委員もおっしゃいましたが、この南口を利用している方は、調査範囲だけではない方もいらっしゃるということで、私も拡大してはどうかというふうに思います。ただ、御担当としては、このアンケートの趣旨が薄まってしまうというようなこともございましたので、そこをどうバランスを取るかということは重要なことだと思います。

南口を利用する方の中に、アンケートの中では10代、20代というのがあるんですが、学校で言えば、第二中学校に通っているお子さんとか、ほかの学校も含めてなんですけど、そういう方の声を拾えればいいなというように私は思っております。併せて、バリアフリーの視点では障害者の方だったり、もちろん高齢者の方もいるかもしれませんが、そういう具体的な属性と伺いますか、そういう方の声も拾っていただくような取組をしていただきたいと思います。それは今後になるかどうかとは思いますが、今の時点でのお考えをお聞かせください。

○細江駅周辺整備課長 学校などに対する意向把握という点では、前回も御答弁させていただいたとおり、特定の学校に絞るといのはなかなか難しいのが現状だと思います。今回のアンケート対象の中にも近隣の学校の御家族の方も対象になるということがありますので、まずはこの無作為抽出という中で御意見を伺いたいと考えます。それから、バリアフリーの件については、国分寺市バリアフリー基本構想推進協議会にも御意見を伺ってきているところですので、そちらのほうも含めて検討していきたいと思っております。

○皆川委員 よろしくお願ひいたします。アンケートに関しては、御家族の中にもしかしたら中学生がいられるかもしれませんので、ちゃんと声が聞ければいいなというふうに思っております。いろいろな工夫をよろしくお願ひいたします。

以前、南口の所に職員の方が日曜日にいらっしゃいました。私もその日に、何かやっているなと思ってたまたま通りかかりましたら、将来像ということで簡単な地図があって、そこに何か貼るというようなことで私も参加した経験があります。今後、このアンケートを基にパースか何かの少し見える形のを皆さんに御提示して、そこに何か、それこそアンケートですよ、付箋なり何なりを貼っていただくという、そういうことをイメージしているのかということと、大体その取組は何年後ぐらいになりますか、その辺のスケジュールも併せて教えてください。

○細江駅周辺整備課長 今、これまでやってきた現地での街頭アンケートのような取組も、引き続きやっていきたいと思っております。そこに示す内容も、これまでの検討をさらに具体化したものをお示しして、そこで御意見を伺っていきたくて考えています。

時期としては、来年度以降から基本設計の段階に入っていきたいと考えておりますので、来年度以降で実施していきたくて考えているところでございます。

○皆川委員 分かりました。順次、取組を進めていただきたいと思います。併せて、市報等でこういう取組をしているということも、どこかの時点で、もちろんホームページも含めてですけど、市民の皆さんにも知っていただくという周知にも取り組んでいただきたいと思います。その点だけ一言いただいて終わりたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 御意見を伺う機会に関しては、あらゆる手段を使って周知をしてまいりたいと考

えております。また、そのやり方については、検討していきたいと思っております。

○鈴木委員 御報告ありがとうございました。先ほど、複数の委員から御意見があったように、私としましても、やはりアナログ、デジタルどちらも活用した意見収集のやり方であったり、あとは年代や属性、障害のある方や、特に、アンケートに答えるということに少しハードルがあるような若い世代の意見収集については、引き続きの検討課題として考えていただきたいと思います。と要望させていただきます。

そこで質問なんですが、今の皆川委員の質問と少し答弁が重なる部分もあると思うんですが、やはりこのアンケートの集計結果を、今後どのようにお示ししていただけるのかということ全体として確認したいと思っております。まずは委員会で御報告があるのかなと思うんですが、それを少しまとめていただいて、その後の市民への周知のやり方について、現在のお考えを少しまとめて御説明していただけたらと思います。

○細江駅周辺整備課長 今回のアンケート結果については、今後の本委員会で状況について御報告させていただきたいと思っております。それを踏まえて、これまでも説明しているとおおり、再整備の基本方針といったものを取りまとめていきたいと考えております。それについても案を作成して、また御意見を伺う機会を考えておりますが、今の段階では、明確にいつ頃ということはなかなか申し上げにくいところがあります。アンケートの結果を踏まえた整備基本構想案についてもお示しして、進捗については、皆様に分かりやすく周知していきたいと考えております。

○鈴木委員 お願いします。それでアンケートの分析につきましては、様々なやり方があると思うのですが、これまでもいろんな市民アンケートで分析していただいているように、クロス集計のやり方があるかと思っております。その中には、今回のアンケートの質問でもあるように、例えば、性別や年代、居住エリアなどの項目と、その他の質問をクロスして分析するような方法もあると思うので、そういった分析を、ぜひやっていただいて、どのような市民の方が、どのような駅前を望んでいらっしゃるかというところを、深くしっかりと分析をお願いしたいと思います。そちらについては、要望とさせていただきますと思います。

それで今回のアンケート用紙で、最後に自由意見というものがあります。これまでの市民アンケートとかを多々見ていると、市民の方によっては、たくさん自由意見を書いてくださる方もいらっしゃいます。そういった自由意見をよりしっかりと公表していただき、今後の基本設計に生かしていただきたいと思います。その自由意見をどのように公表していくか、また、その自由意見について、今後はどういふふうにかかされるのか、その辺の考え方についてお聞かせいただきたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 まさに自由意見なので、どういう意見が出るかということは、まだ何とも言いえないですけど、こういった自由意見というのは、今後どういったことを中心に検討していくべきかといったヒントが得られるというふうに考えております。今後の取りまとめ方法については、現在検討中ではございますが、おおむねカテゴリー分けをしたりだとか、そういうような整理をした上でお示しできるような形で考えていきたいと思っております。

○木島委員 今、鈴木委員のお話で、今回のこの無作為抽出の在り方というかクロス集計の話もありましたけども、期待されることだと思いますので、そういった多面的な分析においては、年代別でどういふお考えの特徴が出るのかとか、その辺が多分浮き彫りになるのかなというふうに思います。この点はやはり回答比率が高いほうが望ましいと思いますので、期待して待ちたいと思います。それと、これは前回のスケジュールでの関係機関等の協議というのが、一旦9月で終了しているということになると思います。

まず、この関係機関について、もう一回整理する意味で、鉄道事業者や小金井警察署などですか、その辺りの関係機関の定義というか、どういう協議をされたのかも含めて、現在の状況を確認させていただきたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 関係機関といいますと、まずは土地を所有しているJR東日本であったりとか、それから都道が入っておりますので、管理している部門として東京都北多摩北部建設事務所、交通管理者ということで小金井警察署、それから国土交通省のほうとも交通管理者協議といった形で現在進めているという状況です。それから、交通事業者、民間のバス、タクシー、そういったところとも協議を進めて、詳細について詰めていくという作業をしております。今、主にやっているところは交通管理者との協議ということで、整備後の交通規制とか、そういった面から見て適正なのかどうなのか、課題がどういう点にあるのかといったことを一つ一つ協議しながら、条件整理を行っているというところでございますので、今後も引き続き行っていくということになります。

それからまた、周辺の店舗だとかそういったことも、これからどう影響してくるか、それから、埋設管だとか、そういったものもありますので、例えば、電力会社との協議も、今後の工事に関連してきますから、これからまた協議をしていくということになっていこうかと思っております。適切な時期に、関係機関の協議状況についても御報告できることがあればお示ししたいと考えております。

○木島委員 分かりました。前回の資料だと、9月で一旦切れて、また12月からとなっているので、これがちょっとよく分からなかったというのものもあるんですが、いずれにせよ継続的に各種団体と協議をされているということだと思います。今、御答弁いただいた内容もかなりいろんなことを変えていくとなれば、すぐ影響も大きなことでしょうし、より丁寧な協議が必要です。一方で、なるべく速やかに形というか、方向性をやはり決めていく必要も計算しなければいけない部分も出てくるんだと思います。例えば、前回の委員会で申し上げた、あくまでもそれができるのであればという前提でありますけれども、ぶんバスの万葉・けやきルートの子バス停の位置を変更することができるのかどうか、その辺りについても、今日の段階ではまだ結論めいたことは多分言えないんだろうと思いますけど、引き続き、そういった意見などを丁寧に協議を進めていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。答弁は結構です。

○寺嶋委員長 ほかに質問はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 ないようですので、報告事項1番を終了いたします。



○寺嶋委員長 続きまして、報告事項2番 **西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況**について、報告をお願いします。

○細江駅周辺整備課長 それでは、西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況について、報告いたします。本日は令和7年11月実施予定の勉強会の内容についてということでございます。資料の勉強会開催概要にお示ししているとおり、11月7日金曜日午後2時からと午後7時からの2回、それから次の日の8日の土曜日午前10時から、延べ合計3回実施する予定としているところでございます。当日の資料を別添としておりますので、御覧いただきたいと思います。

別添資料の右下にページ番号を振ってございます。目次のところから2ページと書いておりますけれども、3ページから5ページにかけては、これまでの取組、前年度の振り返りといった内容でございます。

その後6ページ、今後の進め方ということでございますけれども、前回御説明したとおり、都市計画決定

の必要性と、その決定に向けて、街区整備方針を策定していくといった内容になるというところでございます。なお、この街区整備方針については、権利者の方々にどういったものなのかという説明も盛り込んでいるところがございます。併せて、街区整備方針策定に向けた市と権利者の各年度における役割分担もお示ししているところがございます。

続いて8ページを御覧いただきたいと思います。都市基盤の具体化ということで、前回もお示ししました土地利用計画案のたたき台、こちらに検討のポイントを示しているところがございます。

次の9ページから10ページにかけて、事業エリアの考え方といった内容でございます。まずは土地利用の考え方としまして、駅前拠点の高度利用の必要性と段階的な土地利用の考え方を踏まえて、事業エリアを考えていくといった内容でございます。

その後、11ページから14ページにかけて、公共施設の配置というところで、まずは南北アクセス道路の配置に関する内容を示しております。

12ページにお示ししているとおり、道路配置はなるべく土地利用がしやすい線形が望ましいということにはなりますけれども、現状の地形、それから周辺の道路との接続、交通状況なども考慮していくという必要があるということがございます。

これまでお示してきました道路の線形のみならず、検討を進める中で具体的に見えてきた課題といったものを13ページに盛り込んでいるというものでございます。具体的には南北アクセス道路はそのまま直線で駅前街区に接続させる線形といったものも検討してきたんですけども、14ページにお示ししているとおり、交通面での課題が想定されるといった内容もございますので、今回、資料に盛り込むというところでございます。

続きまして15ページ以降、こちらは交通広場の配置ということでございまして、考え方から、配置パターンごとのメリット・デメリット、こちらを示す内容というふうになってございます。

16ページに、その内容として平面配置のパターンと、立体配置のパターンでのメリット・デメリット、こういったものを盛り込んでいるところがございます。

さらに、次のページに立体配置における具体的な問題点も見えてきたところがございますので、断面図を交えてお示ししているという資料内容でございます。

以上が、今回の勉強会内容というところがございます。今回いただく御意見等を踏まえながら、次回以降のテーマ、それから検討内容も含めて、街区整備方針の検討を進めてまいりたいと考えているところがございます。

報告は以上です。

○寺嶋委員長 報告が終わりました。質問のある方は挙手をお願いします。

○皆川委員 前々回になりますが、西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況ということで、これは第2回定例会で、報告事項資料No.5でいただいております。その際は、エリアの整備に向けての意見交換会ということでしたが、本日は勉強会ということで御報告いただきました。同時並行ではないんですけど、時間はずらしながらやっているわけなんですけど、やはり参加される方は何十人もいらっしゃるのと、やはり重なっている方もいると理解していいんでしょうか。その点を教えてください。

○細江駅周辺整備課長 勉強会に希望されて参加される方も、任意で参加することのできる意見交換会にも御参加されているという状況でございます。

○皆川委員 勉強会となると、直接的に権利の関わる方という言い方が正しいかどうか分からないんです

が、そういう方になるかなとは思いますが、まず、そういう認識でよろしいですか。

○細江駅周辺整備課長 勉強会に関しては土地、建物を所有されている方に御案内をさせていただいておりますので、直接関連する方ということになってございます。

○皆川委員 勉強会ですから、この資料を見ても、そもそもの都市計画の手続のことですか、どういう整備方法があるかというようなことで、具体的な話になっているかと思うんです。ただ一方、意見交換会ですと、立場の違う方もいらっしゃる中で、やはり勉強会とは違ういろいろな意見で、本当に権利者にとっては、ちょっとこの意見だともしかしたら思うようなこともあるかもしれませんし、そういう違和感、立場によって考え方は違いますから、そこをどうすり合わせていくかということも、今後必要になるかと思えます。

でも、その前に、この勉強会の中で、権利者の皆さんの合意形成を図るということは、非常に大変な作業だなというふうに思っております。前段で申し上げました点と意見交換の場は、本当に権利者の方のそれぞれのお考え、事情も含めての勉強会とのずれと言っているのかわかりませんが、そういうところをうまく修正しながら、それぞれの合意形成もしなければならぬという非常に困難なところもあるかなと思えますが、担当としてのその辺のお考えについて、これからどのように進めていくのかということも含めてなんですけれども、お聞かせいただければと思います。

○細江駅周辺整備課長 まず、今、皆川委員がおっしゃったように、合意形成が非常に難しいのは、これはもう、この取組を進めている中で重々承知しております、それが最大の課題だとも思っております。どういうふうに合意形成を築いていくかというところで、今、担当として最も重要だと考えているのは、やはり具体的なたたき台みたいなものを示さないと、なかなか皆さんも意見の言いようがないというのが、これまでの参加者の方からいただいていた様々な意見だと考えております。

ですので、今回も前回もそうなんですけども、より具体的な土地利用計画のたたき台といったものを示し、少しずつ具体化をしていくという作業を踏まえながら、そのプロセスで合意形成が築かれていくのかなというふうに捉えているところでございます。

○皆川委員 本当に大変な作業だと思いつつお聞きしています。国分寺駅北口でも、恐らく、新海委員も御苦労されたと思うんです。対象のエリアも、まだこちらに関しては決まっていないですね。そういう意味では、自分がその当事者になるかどうかということでも不安を持っている方もいらっしゃるかもしれません。とはいえ、やはり整備していくという方向性の中で、市としては情報提供も含めて勉強会を予定されている日程だけではなく、もしかしたら、ほかにも必要な場面があるかもしれません。そこは本当に丁寧に、そのエリアになるだろうという対象の方には情報提供と勉強会等を含めて御参加いただくように、お願いベースになるのかもしれませんが、進めていただきたいというふうに思っております。その点の御見解だけいただいて終わりたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 今後の進め方については、今回のこの勉強会でいただいた御意見といったものも貴重な検討材料になろうかと考えております。まだ、皆さんがどのようなお考えなのかというものを明確に把握しつつあるというところでございますので、こういった勉強会を含めて皆さんの御意向、それから、まちの将来像について、より具体化を図っていきたくと考えております。

○森田委員 おはようございます。よろしく申し上げます。11月7日、8日で勉強会を開催するというところで、前回はたしか1月で、参加者が26名ぐらいだったと思うんですけれども、今回、参加される予定の方の人数とか、あと前回参加された方がまた2回目もお越しいただけるのかなというところを、まずお願

いします。

- 細江駅周辺整備課長 現時点で把握できているのは、おおむね20人前後というところで、前回とほぼ同じような規模になるのかなというところですが、ただ、まだ確定ではないのですが、恐らくこの流れだと、前回と同じくらいの参加者数だというふうに捉えております。
- 森田委員 ありがとうございます。課題として、この権利者の方が100名を超える中で、前回は26名が参加され、今回は20名ぐらいが参加されるということで、パーセンテージとしては、よりこれを高めていくという必要がまず一つあると思うので、そういった取組をお願いします。あと、開催の頻度の根拠というのはあるんでしょうか。1月、11月、次は、いつやろうかなというところで、すごく長い事業なので、多過ぎてはなかなか負担になると思うんですけど、少な過ぎも望ましくなく、この興味をずっと継続して持っていていただくことが非常に重要だと思うので、頻度の根拠になるところがあれば、説明をお願いします。
- 細江駅周辺整備課長 この勉強会の頻度に関しては、特に明確な根拠があるわけではないので、いただいた御意見、それから我々の検討状況で皆さんにお伝えできる根拠資料とかがそろった段階で、順次開催していきたいという考えですので、今後もこのペースでやるかどうかは、今のところまだ何とも言いえないところでありまして。ただ、意見交換会の各年度の進捗の報告的な位置づけとして、意見交換会はいつも3月に実施しております。そういったすみ分けはしておりますので、意見交換会に関しては、年一度ということ、現在は想定しているというところがございます。
- 森田委員 ありがとうございます。勉強会と意見交換会は、ちょっと毛色の違う形で、深く掘り下げていくものと広く周知していくという形になるのか、この2つの違いはあるんですけども、交互に、いろいろ頻度とか市民の方々からも意見が出てくると思うので、そういったところを鑑みながら開催していただく。また、この今回の資料を見ますと、非常に分かりやすくなっていて、どういった範囲でどういった内容になっていくのか、また、スケジューリングのほうも、まずはこの街路整備方針というものを決めていくというところで、きちんと段階を踏んでいかなければいけないということは非常に分かりやすい資料だと思います。本当にいろいろと課題になってくるんですけども、途中から参加した方も、これだと分かりやすく見えると思いますので、まだ決定はしていないだけけれども、これで決定ですかという声も意見交換会とかに行くと多々聞こえてきますので、これから掘り下げていくところなんだろうが、こういった資料づくりにも考慮しながら、まずは11月のこの勉強会を踏まえて、新しい資料、また、新しい方向性というのは出てくると思いますので、引き続き、取組を進めていってください。
- 鳥居委員 森田委員の関連で、まず資料の作成について、すごく本当に分かりやすく、今までの流れを全部踏襲していて、この先のスケジュールなどもしっかりと確認できるような資料の作成をありがとうございます。このようなしっかりした資料ができていて、参加された方にとっては、実りのある話合いの時間になると思います。先ほど森田委員が言っていました、参加者の数を増やすというところにおいて、市として、もう少し歩進んで、参加者を増やすような検討というのは何かされますでしょうか。
- 細江駅周辺整備課長 やはり参加者を増やす、1人でも多く権利者の方に関わっていただく、これは最終的に必要なことだというふうに認識しております。ただ、これまでの取組の中で、なかなか参加者が増えないといったところは、課題としても捉えているところがございます。ただ、一部の権利者の方々が任意に集まって、それぞれでの情報交換だとか、そういったことをされているということも聞いております。その方々に対しても、資料提供だとか、そういったことも含めて支援していくという形で、少しずつこう

いった取組が行われているということを皆さんの力もお借りしながら、私どもも情報発信しながら、ともに進めていくという形で考えていきたいと思っております。

- 鳥居委員 分かりました。一部の方の任意団体というところで、かなり頑張ってもらっているという状況があるかと思うんです。それは、お願いベースで進めていくとして、市から参加者を募る方法については、個別の対応はしてははいないのですね。郵送とか、チラシを配るとか、100人に個別での対応はできないかと思うんですが、どこまで考えているのか、もう少し詳しくお願いします。
- 細江駅周辺整備課長 まず、こういった勉強会の御案内に関しては、基本的には郵送だとかそういった形で御案内をしています。個別の対応に関しては、必要に応じて直接連絡させてもらって、面会したりだとかそういったこともやってきているところでございます。こういう市街地整備をするには、権利者の組織化ということが必要であるということは、申し上げてきたところでございますので、具体的にどういう組織化をしていくのかということも、この勉強会の中で、今後御紹介できたらと考えているところでございます。
- 鳥居委員 ありがとうございます。組織化が重要であるという今後の課題を確認させていただきました。引き続きよろしく願いいたします。
- 皆川委員 一点確認します。この事業を進めるに当たって、プロポーザルの選定がなされて、もう決定して取り組まれているかと思えます。何者ぐらい応募があったのでしょうか。
- 細江駅周辺整備課長 1者ということでございます。
- 皆川委員 分かりました。基準をクリアしているということで、採用されたかと思えます。そちらの提案書について、市が示したものとすると、例えば市民参加手法の工夫ですとか、合意形成手法の工夫というのも出ているわけですよね。その点についてどういった御意見、御提案があったのか、もし可能であればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。さらに独自提案というのをいただいているのであれば、教えていただければと思います。
- 細江駅周辺整備課長 プロポーザルに関する独自提案とか、そこら辺はその民間事業者のノウハウということなので詳細にはお示しすることはできませんが、やはりこういった合意形成を築いていく中で、ウルトラC的な手法というのは特にあるわけではないです。なので、こういった勉強会を繰り返し行うとか、必要に応じて個別ヒアリングを丁寧に行っていくとか、そのときにどういった資料を示していくのかといった、そういった基本的な考え方を提案書の中で示されていたというところでございます。
- 皆川委員 分かりました。その企業の独自の御経験に基づくやり方というのがあるのかなと思えます。それは、まさに今、発揮されているのかなと思えます。権利者の方、市民の方に寄り添った形でまずは進めていただきたいと思えます。これは契約の期限が当然あるわけなんですけど、もちろん計画ですから、年度の目標というのは必要だと思いますが、場合によっては、それは予算と関係することだから単純には言えないんですけども、拙速にはやっていただかないほうがいいかなと思っております。計画年度と進め方で、私としては、やはり拙速にやる話ではないだろうというふうに思っておりますので、その点について御見解があればお聞かせいただければと思います。
- 細江駅周辺整備課長 今、委員のおっしゃられた拙速という認識では、多分、実際にできないだろうと思っております。当然、合意形成があつてのこういったまちづくり、都市計画の決定に向けて進むということですので、この手続において、拙速という概念を我々は持っておりません。一つ一つ確認しながらやっていく流れだというふうに考えております。

○新海委員 いろいろお聞かせいただきましたけど、先ほど、皆川委員の意見の中にありました国分寺駅北口の件です。国分寺駅北口は関係者が88人いたんです。この西国分寺駅北口が非常に難しいのは、まず高低差があるということです。国分寺駅北口の場合は、合意形成の2つはクリアしているんです。都市計画をどういうふうにつくるかということと、それから行動制限の問題。これは全員がほぼ理解していました。西国分寺駅北口の場合は、まずそこからスタートしなくてはならないんで、通常の合意形成よりもはるかに大変かなというふうに思います。

ここに関しては、前に第1回西国分寺駅北口周辺まちづくり協議会が開催されて、その報告書が出ていますから、そこに参加した人たちが、今回どういうふうな形の意見を持っているのか、あるいは、あのときのことはどうなっているのかとか、そういうふうにする方がいる可能性がありますので、その辺はどうでしょうか、あの方たちとの合意形成はできているのでしょうか。

○細江駅周辺整備課長 令和2年に策定した西国分寺駅北口周辺まちづくり計画、これの元になった前段の昭和54年の西国分寺駅周辺整備基本構想について、当時の議論をなされたといった御意見も持っている方々がいらっしゃいます。ただ、時代も変わって、その内容もまちづくり計画で改めて将来像のほうをお示ししております。駅前をまず整備していくという考え方においては、その当時、基本構想の段階で検討された方々とも、同じ方向を向いているという認識でございます。

○新海委員 ぜひ、同じ方向でやっていただいて、御協力いただくところは協力していただくということで、あと、協議会をまたつくることになると思いますので、その辺りの人選というか、これは非常に場所が広いんですね。熊野神社通りまでつながる道路が必要なので、その沿道の人たちも協力が必要なので、そういうところの方たちとも合意がしっかりと取れるように、ぜひお願いします。一言いただいて終わります。

○細江駅周辺整備課長 今回、この西国分寺駅北口については、まずは道路といった都市基盤を整備していかないことには、駅前の土地利用だとか災害への対応もできないということですので、その道路には熊野神社通り、国3・4・6号線までのルートの方々も巻き込むと言ったらおかしいんですけども、関連していくということになりますので、そういった方々に対しても、丁寧に説明して、同じ方向に向いていただくよう対応していきたいと考えております。

○寺嶋委員長 ほかに質問はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 ないようですので、報告事項2番を終了いたします。



○寺嶋委員長 報告事項3番 **その他**、ございますでしょうか。

○秋山西国分寺駅等周辺まちづくり担当課長 よろしく願いいたします。西国分寺駅東側市有地借地権設定契約再契約の締結に関する合意状況について御報告いたします。お配りする資料はございません。口頭での報告とさせていただきます。

第3回定例会では、10月の合意書締結を予定している旨の御説明をさせていただきましたが、想定より交渉に時間を要しているため、1か月程度、スケジュールを後ろ倒しにさせていただきたいというふうに考えております。11月中の合意書締結を目指し、12月の第4回定例会にて合意内容を御報告できますよう、最終調整を鋭意行っているところですので、御理解いただきますようお願いいたします。

○寺嶋委員長 報告が終わりました。こちらに関して質問のある方は挙手をお願いします。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長　　ないようですので、報告事項3番、その他を終了させていただきます。

　　以上で、報告事項を終わります。

　　それでは、以上で本日の国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時26分閉会